

授 業 科目名	研究会	必 修	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブ タイトル	行政法・地方自治法演習		担当者	鶴尾 和憲		
講義概要	<p>【概要】 受講者に、行政法の重要判例や新しい問題について報告してもらい、行政法への理解を深めていく。</p> <p>【到達目標】 判例や新聞記事等を読み、理解し、その内容について報告することができる。 他者の報告を聞き、自分の意見との相違について考え、さらに自分の意見を発展させることができる。</p>					
履修条件	行政法概論は履修済みであること。行政法総論Ⅰ・Ⅱは履修済みであるか平行して受講すること。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】特に指定しない。</p> <p>【参考書】必要に応じて適宜指示する。</p>					
授業内容	<p>本演習は、各回の報告者を決め、20分程度で報告をしてもらい、それを素材に受講者全員で議論をすすめていく。</p> <p>報告してもらおう判決等については、担当教員がこれを選定し、演習時に配布する。判決文では、普段は目にしないような難解な用語も使われているため、しっかりと読み込んでおく必要がある。原則として、レジュメは報告の1週間前に配布すること。報告の際は、可能な限り分かりやすい報告を心掛けること。参加者は、配布されたレジュメを事前に読み、主体的に議論に参加できるように用意しておくこと。</p> <p>受講者の関心のある判決等についても取り上げていく。</p>					
評価方法	受講状況、報告およびレポートを総合的に判断して評価する。					
評価基準	各回のテーマについて自ら考え、他者の意見を踏まえて自分の意見をまとめることができた者に「A」を与える。理解度や報告内容に不備がある者についてはその程度に応じて「B」または「C」とし、評価方法に挙げた内容に著しく不備がある者については「D」または「E」とする。					
その他	特になし					